

策定年月	令和5年1月
見直し年月	令和 年 月

麦・大豆国産化プラン

産地名：浦幌町

(作成主体：浦幌町農業協同組合)

1. 大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

◆大豆（とよまさり銘柄）

①作付・生産実績

	面積(ha)	単収(kg)	生産量(kg)	製品数量(kg)	製品率(%)	備考
R2	190	275	522,028	459,630	88.1	ユキシズカ
R3	203	297	602,611	531,990	88.3	ユキシズカ
	7	234	16,398	15,210	92.8	とよまどか
R4	217	258	559,680	532,750	95.2	ユキホマレR（製品推定）

②課題と課題解決に向けた取組方針

課題 喫緊の課題としては、現状の大豆面積は217haであり、令和7年には260haに拡大することが予想されており、現状の大豆コンバイン台数では適期収穫が困難となる。その他、生産費上昇を補う栽培技術確立、生産量拡大に伴う受入施設の増設が必須である。

課題解決 解決方法としては、大豆コンバインの増台をし、作業効率を上げることで適期収穫を目指す。この他に契約栽培拡充による流通生産者価格の安定と確保、新規共同保管施設の検討していくことも重要である。

2. 産地と実需者との連携方針 ー ①

◆大豆

①契約・取引について

- ・大豆については、播種前4月より出荷契約を行い、全道集計数量に対し、実需者より契約栽培の取りまとめを実施する。
- ・実需からの希望数量に対して、産地受託は同年9月に行われることから、過去3か年の取組実績を提示する。

② 契約栽培過去実績について

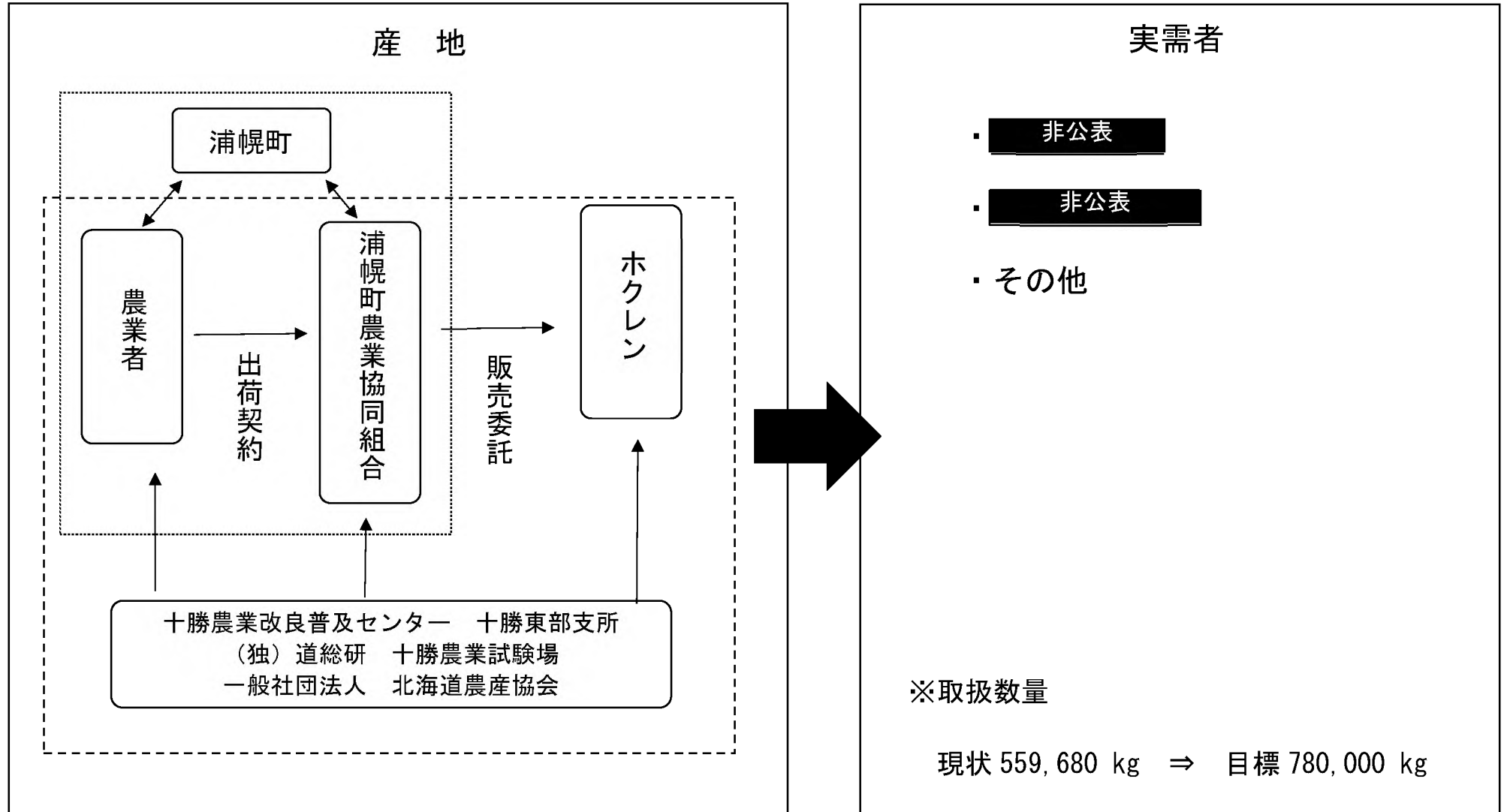
年産	取扱	委託先	契約栽培先	実需	袋数(袋)	重量(kg)
2年産	共計	ホクレン	非公表		8,580	257,400
	共計	ホクレン		415	12,450	
	共計	ホクレン		4,950	148,500	
	共計	ホクレン		1,320	39,600	
	共計	ホクレン		56	1,680	
合計					15,321	459,630

年産	取扱	委託先	契約栽培先	実需	袋数(袋)	重量(kg)
3年産	共計	ホクレン	非公表		3,300	99,000
	共計	ホクレン		562	16,860	
	共計	ホクレン		330	9,900	
	共計	ホクレン		2,640	79,200	
	共計	ホクレン		1,320	39,600	
	共計	ホクレン		147	4,410	
	共計	ホクレン		6,120	183,600	
	共計	ホクレン		1,320	39,600	
	共計	ホクレン		1,320	39,600	
	共計	ホクレン		660	19,800	
	共計	ホクレン		127	3,810	
	共計	ホクレン		330	9,900	
	共計	ホクレン		50	1,500	
合計					18,226	546,780

年産	取扱	委託先	契約栽培先	実需	袋数	重量
4年産	共計	ホクレン	非公表		2,640	79,200
	共計	ホクレン		1,320	39,600	
	共計	ホクレン		13,798	413,950	
合計					17,758	532,750

2. 産地と実需者との連携方針 ー ②

◆連携体制



3. 大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割 — ①

◆大豆

① 令和5年産指標面積 232 ha（令和4年12月23日地区畑対にて）

② 国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割

【浦幌町農業協同組合】

- ・ 需要に応じた作付の拡大（令和7年産に向けて260haへの作付拡大推進）
- ・ 営農販売部で作付誘導と営農指導の拡充を図り、大豆の安定生産に取り組む。

【ホクレン及び実需者】

- ・ 豆腐用途向けユーザーを主体とした契約栽培・産地指定拡大への取組（輸入代替）。
- ・ 生産拡大に伴う集約保管倉庫の確保と、新規共同保管施設の検討。
- ・ 新たな大豆需要の創出（大豆ミートなど）による市場拡大。

【浦幌町】

- ・ 安定生産に係る基盤整備の協力体制の検討。

【十勝農業改良普及センター 十勝東部支所・（独）道総研 十勝農業試験場・一般社団法人 北海道農産協会】

- ・ 栽培技術等の指導及び情報提供
- ・ 国産化に向けた栽培技術構築の検討

3. 大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割 ②

